

**製品名: アンフィレグリンウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06839**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	17kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AREG/AREGB
別名	AREG; SDGF; AREGB; Amphiregulin; AR; Colorectum cell-derived growth factor; CRDGF
遺伝子 ID	374/727738
SwissProt ID	P15514
免疫原	抗血清は、ヒト AREG/AREGB の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

**背景**

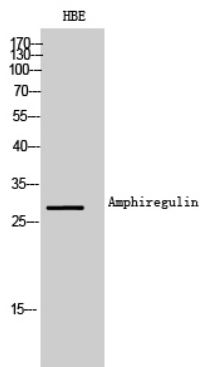
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、上皮成長因子ファミリーのメンバーです。これは自己分泌型成長因子であると同時に

に、アストロサイト、シュワン細胞、線維芽細胞のミトジェンでもあります。上皮成長因子（EGF）および形質転換成長因子 $\alpha$ （TGF- $\alpha$ ）と関連があります。このタンパク質はEGF/TGF- $\alpha$ 受容体と相互作用して正常な上皮細胞の増殖を促進し、特定の悪性度の高い癌細胞株の増殖を抑制します。また、乳腺、卵母細胞、骨組織の発達にも作用します。この遺伝子は乾癬様皮膚表現型と関連しており、様々な種類の癌や炎症性疾患を含む他の病態にも関連しています。[RefSeq提供、2014年4月]、機能：二機能性成長調節糖タンパク質。培養された複数のヒト癌細胞の増殖を阻害し、ヒト線維芽細胞および特定の腫瘍細胞の増殖を刺激する。誘導：ホルボール12-ミリスレート13-アセテート（PMA）による。、その他：ARは、その生物学的活性に必須のジスルフィド結合したシステインを含むタンパク質である。ARは、生物学的活性に必須ではないオリゴ糖および/または脂質部分を含む場合がある。、類似性：アンフィレグリンファミリーに属する。、類似性：1つのEGF様ドメインを含む。、サブユニット：未成熟の前駆体はCNIHと相互作用する。、

## 研究分野

エルブ B\_HER;

## 画像データ



アンフィレグリンポリクローナル抗体を用いたHBE細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈されました。